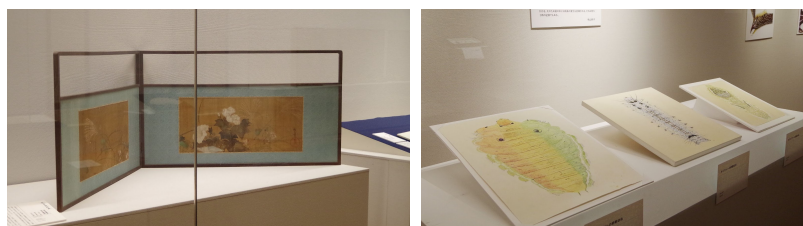


特別展「虫めづる日本の美－養老孟司×細見コレクション－」
新たな作品と共に、お楽しみください。

本展は好評につき、会期を1月30日(日)まで延長することといたしました。また、年末には一部展示替えを行い、1月5日(水)より新たな作品をご覧ください。

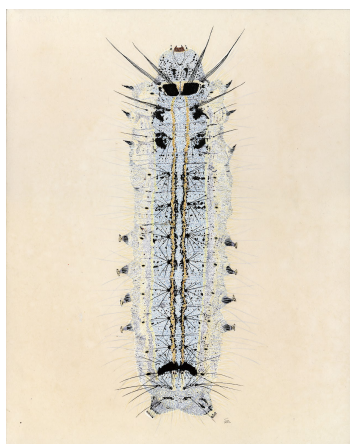


— 新たにご紹介する作品 —



細見コレクションに表わされた虫たち

秋草図屏風 酒井鶯蒲 鈴木鶏邨 江戸後期



特別展示 虫博士が贈る美しき虫の世界

イモムシの展開図 桃山鈴子

左)オビカレハの終齢幼虫 桃山鈴子 2020年

右)ミカドアゲハの終齢幼虫 桃山鈴子 2022年



解剖学者の養老孟司は、無類の昆虫愛好家、昆虫学者としても知られ、世界各地を訪れて、不思議と驚異にみちた虫たちの生態を探究しています。古来、我が国の人々は、ゆたかな風土に育まれた様々な虫たちに親しみ、その姿を写し愛でてきました。

本展では、養老孟司が細見コレクションから選ぶ、虫を表した絵画・工芸作品約60点を紹介します。写実の精緻を極めた伊藤若冲の「糸瓜群虫図」、宝石のような虫たちが鏤められた蒔絵の小箱など、みずみずしい好奇心にあふれる虫博士の眼が会った、日本の美に息づく儚くも美しき生命を、どうぞご鑑賞ください。

加えて養老孟司が親交を結ぶ作家の、独特な自然観やデジタル技術によって表現された作品も紹介します。

— 展覧会要綱 —

1. 展覧会名称 特別展「虫めづる日本の美－養老孟司×細見コレクション－」
2. 会 期 2021年10月29日(金)～2022年1月30日(日) 《一部展示替えあり》
※会期を延長いたしました。
3. 開 館 時 間 午前10時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
4. 休 館 日 毎週月曜日(祝日の場合、翌火曜日)、年末年始(12月27日～1月4日)
5. 入 館 料 一般 1,300円 学生 1,000円
6. 主 催 細見美術館 京都新聞
7. 監 修 養老孟司（東京大学名誉教授 京都国際マンガミュージアム名誉館長）
8. 特別協力 有限会社 養老研究所 新潮社
9. 企画協力 足立真穂
10. 会 場 細見美術館 京都市左京区岡崎最勝寺町6-3
<http://www.emuseum.or.jp>
11. 本展連絡先 細見美術館 TEL: 075-752-5555(代) FAX: 075-752-5955(代)
広報担当 大塚 kouhou@emuseum.or.jp

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ご入館および施設のご利用にあたってはマスクをご着用ください。また、急激な状況の変化により、止むを得ず会期・営業日時等を変更する場合があります。詳しくはホームページをご覧ください。



資料（画像）・取材をご希望の方は、ホームページリリースページもしくは左記QRコード「資料（画像）申込フォーム」からお申込みください。

細見美術館